

「石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)

萌黄 (もえぎ)

通信

2006年6月号 臨時版

<http://www.e-kands.jp>

石材トラブル集 号

皆さま、お元気ですか？ 6月は、新年
度に入って慌しさから開放されて、少し落
ち着く時期です。そこで、この時期に多く
受ける石のトラブル事例を報告します

*「萌黄通信」は写真入になりました。

メールアドレス教えてください。

kandsstg@jt4.so-net.ne.jp まで。

*社長ブログ「石材メンテナンスの旅」はじ
めました。

K&S ホームページ <http://www.e-kands.jp>

- 入居後のマンションで
るクレームベスト4
- 1 ↓ 玄関土間石につ
いた、油しみ
 - 2 ↓ 柄、模様、色合当
の不揃いの指摘。
 - 3 ↓ 建築及び引越し
時の養生テープに
よるテープシミ除
去
 - 4 ↓ 食べ物・飲み物等
をこぼしてでき
るしみ

萌黄通信

発行元 有限会社ケイ・アンド・エス

本社 電話 0556-22-3237 Fax 0556-22-3236

東京(営) 電話 03-3431-0387

メール kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

石材トラブル1 「落書き」

これは、1年を通して良く起こる事件で、ブティックやマンションの
玄関の壁で多く、つけられる事が多いです。
深夜から朝方にかけて書かれる事が多いので防ぐのが非常に難しい
です。
一度石材内部に顔料や染料が入り込むとなかなか抜けないので、厄介
です。



このような場合できれば、何も処理していないまま教えて頂けると、
抜く作業も比較的スムーズにいけます。 施工は、溶剤と漂白剤との
併用で、時間を掛けて抜いていきます。 除去後は、落書き防止コー
ト「サテイスコート」塗布をお勧めします。

石材トラブル2 「建築養生テープのシミ」

これも、最近多いトラブル事項の一つです。



建築時や引越し時に 石を保護するために、必ず、コンパネやクッション材
で養生するのですが、それを固定するテープで、右のようなシミできます。
とくに、テープを貼って時間の経ったものは、抜くにも時間が掛かりま
す。

これは、溶剤と剥離剤の湿布を交互に繰り返して抜いていくのですが、外
部などで、陽の光が当たるところは、シミ自体が変色してしまい、抜けなく
なってしまうこともありますので、テープはこまめに剥がしておく事が懸命
だと思います。

石材トラブル4 「油しみ」

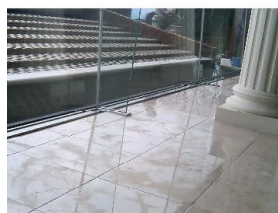
石は、その中に目があり、吸水性がありますので、何かを垂らしたり、こぼし
たりすると必ず、濡れ色模様ができます。
それが油の場合は、乾く事がないので、シミになります。



この現象が多く見られるのは、マンション共用部の玄関口や、各戸の土間部分
の床石です。
大抵、ゴミ袋に穴があいているために、漏れて、付くようです。 このシミの対
処は、ひたすらアルカリ薬品で湿布施工していくしかありません。早いものは、
1時間くらいで抜けますが、時間の経過しているものは、1昼夜ほど置くもの
もあります。

石材トラブル4 「大理石のツヤぼけ」

これは、石貼り後の初期白華から起きた現象です。あまり水分の多くある
ところでは、引き続きこの現象が出ますが、この段階ならば、比較的研磨
施工で復元できます。



筋目の多い大理石、ポテチーノ・クレマーフィル・ペルリーノ系に多
くあります。 石貼り後にすぐ養生をしたりすると、湿気がこもり、白華が
出易くなります。

できれば、石の乾燥を良くさせて、浸透性の吸収防止剤の塗布をお勧めし
ます。